

さいたま市長 12月定例記者会見

平成26年12月10日（水曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の埼玉新聞社さん、進行をよろしく願い
いたします。

○ 埼玉新聞 12月の幹事社を務めます埼玉新聞社と申します。
それでは、今回の会見につきまして、市長からご説明をお願いいたしま
す。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。
今年も残すところあと一月足らずになりました。市内のあちらこちらで
年の瀬を飾る様々な催しが行われております。本日は、大宮氷川神社で十
日市が開かれ、明後日には調神社の十二日まちがございませう。さらに、
22日、冬至の日には中央区の一山神社で冬至祭がございませう。年も押し
迫って何かと気ぜわしい時期でございませうけれども、市民の皆様には是非
さいたま市の年の瀬の風情を楽しんでいただきたいと思ひます。

ところで、先週土曜日に行われましたJリーグ最終戦で浦和レッズがつか
みかけていた優勝を逃し、大宮アルディージャはついにJ2に降格とな
ってしまいました。この結果は痛恨のきわみであり、まさにホームタウン
さいたま市が泣いた日として記憶に残る日となってしまいました。両チ
ームとも市民に元気を与えてくれるスポーツのまちさいたまの核となるプロ
サッカーチームであります。ぜひとも来シーズンには、浦和レッズには優
勝を、大宮アルディージャには1年でのJ1復帰を果たしていただき、市
民を大いに勇気づけてもらいたいと切望いたしてあります。

市長発表：議題1 「さいたま市危機管理センターを開設します」

それでは、本日の議題に移らせていただきます。本日の議題でございま
すが、まず初めに「さいたま市危機管理センターを開設します」について
ご説明をさせていただきます。

本市では、これまで自然災害や大規模災害などの危機管理事案が発生した際には、警戒本部または対策本部を設置するとともに、消防局庁舎3階の講堂に臨時的にオペレーションルームを開設し、危機事案の対応を行ってまいりました。

平成23年3月に発災をいたしました東日本大震災は、東日本の広い地域にわたり甚大な被害をもたらし、市内にも数多くの被害と様々な影響を及ぼす事態となりました。私は、この時市長として、このような事態にいち早く対応しなければならないことを痛感いたしました。

そこで、災害等の危機事案に迅速かつ適切に対応すべく、平成24年度より3か年計画で、さいたま市危機管理センター整備事業に着手し、おかげさまで12月24日から同センターの運用を開始できる運びとなりました。

それでは、施設の概要について説明させていただきます。場所は、消防庁舎の3階でございまして、フロアを全面改修して設置いたしました。執務室といたしまして、迅速な初動対応を行うとともに、適切な災害対応についての意思決定をするための災害対策室、関係各課等と情報の収集、共有を図るためのオペレーションルーム、また庁内各課との協議の場となります関係課会議室、国や警察、自衛隊などが使用する関係機関室など、従来とは異なる常設型のものとなっております。

次に、主な執務室を紹介したいと思います。これがイメージ図でございます。こちらでは、災害等対策本部、警戒本部が設置された際の最高意思決定機関として本部員会議を開催し、本市の対応方針等を決定する場所ということになります。

災害対策室には、55型液晶ディスプレイを9連結しましたモニターを設置し、被害の状況、各部の対応等を映像やデータなどから状況把握することで、職員による迅速な対応の協議、意思決定を行うことができるようにしてまいりたいと考えております。

次に、オペレーションルームでございますけれども、ここでは危機発生時の情報収集、情報共有、活動方針の策定、各部への指揮命令を伝達するとともに、関係機関との連絡調整を行うというものであります。室内には250インチスクリーンを設置しまして、9分割に映像を投影できるプロ

ジェクターによりまして、災害対策室と同様の映像を視聴することで関係機関との円滑な情報共有が可能となります。

また、同センター内には総務局危機管理部の安心安全課及び防災課執務室を1か所に集約配置をいたしまして、自然災害や大規模事故などの災害等危機事案に、より一層迅速に対応することができるようになっております。さらに、停電のときにも非常用自家発電設備と接続をしておりますので、災害等対策業務において72時間の対応が可能となります。

最後に、開所式と震災対策図上訓練のご案内をさせていただきます。今月24日からは危機管理センター室内の見学が可能となっております。また、年明け1月15日木曜日の15時30分からオペレーションルームで開所式を行わせていただきます。

また、1月15日木曜日と1月16日金曜日に、さいたま市震災対策図上訓練を同センターで実施をする予定であります。記者の皆様にはぜひこの機会に見学をしていただきたいと思っております。議題1については以上です。

市長発表：議題2「平成27年さいたま市成人式を開催します～社会貢献活動として「はたちの献血」を実施します」

次は、議題の2としまして、平成27年さいたま市成人式についての説明をさせていただきます。今回は、社会貢献活動として「はたちの献血」を実施いたします。

(今年度)も来年1月にさいたまスーパーアリーナを会場としまして、さいたま市成人式を開催いたします。毎年約1万5,000人が一堂に会する成人式は全国でも最大規模で、昨年度の出席率は約78%と好評を得ているところであります。

さいたま市の成人式は、新成人が主体となった成人式として、企画段階から新成人代表者を交え、手づくり感のある、温かみのある成人式を目指しております。今年度も10区の代表である10人の新成人の代表が企画段階から意見を交わして、心に残る成人式開催のために頑張ってください。さいたま市の未来を担う新成人の新しい人生の門出を地域がこぞって祝福する温かい成人式にしたいと考えております。

次に、開催の概要でございます。開催日は、平成27年1月12日、成人の日でございます。場所は、さいたまスーパーアリーナでございます。新成人の対象者数でありますけれども、1万3,180人となりまして、昨年度と比較して約500人の増ということになります。さいたま市成人式を開催して以来、過去最大の人数ということになります。

平成27年さいたま市成人式のテーマは「メッセージ いままでと、これからへ」。このメッセージには、今まで育ててくれた両親や地域への感謝の気持ち、またこれからの未来に向けて希望のメッセージを発信したいという新成人代表の思いが込められたものとなっております。

続きまして、プログラムであります。プログラムはオープニング、式典、アトラクション、そして再会の広場という流れで開催いたします。10時30分から始まるオープニングでは、ジャズバンドの演奏、また20年の軌跡を振り返る映像上映を予定しております。

また、式典では10区の新成人代表が未来への希望あふれる「はたちの誓い」やスペシャルメッセージビデオ上映する予定となっております。アトラクションでは、ダンスショーやアーティストによるミニライブを実施します。そして、最後は懐かしい旧友や恩師と再会できる再会の広場を用意し、歓談の時間を設けております。

以上のように、平成27年さいたま市成人式の式典の内容は、このテーマでありますメッセージにふさわしく、地域、そして両親、今まで新成人を支えてきてくれた人からのメッセージ性のある心温まる式典内容となっております。

続きまして、社会貢献活動についてでございます。さいたま市成人式では、平成22年の成人式より新成人代表の発案によりまして社会貢献活動を実施しております。平成27年のさいたま市成人式では、埼玉県赤十字血液センター協力のもとに「はたちの献血」をテーマに実施することが決定いたしました。これは、新成人代表者が若年層の献血者数が減少していることに着目し、若い人たちに献血に行くきっかけづくりをさいたま市成人式で行おうということで発案されたものであります。

さいたま市成人式では、まず新成人対象者に送られます成人式の案内状の中に、献血への招待券を同封させていただいております。12月5日金

曜日に既に発送しておりますので、早い方では成人式の前に献血をするという方もいらっしゃると思いますし、また成人式の日、あるいは成人式以後にさせていただけるように私たちとしては促していきたいと思っていますところでは。

この招待券を持って大宮駅西口にあります大宮献血ルームウエストに行きますと、期間限定でありますけれども、記念品を成人の皆さんにお渡しします。記念品の配布期間は平成26年12月5日から平成27年3月31日までとさせていただきます。

また、献血啓発チラシを成人式の当日に受付で配布をさせていただきます。このチラシは現在作成中でありまして、このチラシの作成に関しましては、今後新成人の代表者が実際に大宮献血ルームで献血をする体験をしていただいたり、あるいは埼玉県東松山市にあります関東甲信越ブロックの血液センター埼玉製造所という血液の検査や製剤業務を行う施設を見学させていただく予定となっております。

新成人代表者がこうした体験や講習を受けて感じ、また発信したいメッセージを掲載させていただく予定となっております。そして、献血バスも成人式の会場に当日配置する予定となっております。献血バスの配置場所でございますが、さいたまスーパーアリーナの南側のS1ゲートとS2ゲートの間に車寄せがございますが、こちらに配置をする予定となっております。献血の実施時間は、11時から16時を予定しております。

さいたま市成人式において、これからの時代を担う20歳の若者に献血の啓発をし、さらに献血を実際に体験していただくために、こうした献血招待券の配布と成人式当日に献血バスの配置をすることとなりました。是非、成人式では、新成人に献血の重要性について知っていただき、実際に献血にご協力をいただきたいと思っております。

さいたま市成人式の開催についての説明は以上でございます。

議題に関する質問

○ 埼玉新聞

ありがとうございました。

それでは、幹事社として代表質問をさせていただきます。質問はまとめて行います。

まず、危機管理センターの開設ということなんですけれども、1点目が12月24日ということ、まずなぜこの時期に危機管理センターの開設なのでしょう。この時期が何かのきっかけなのかということが1点と、あとこちらの消防庁舎の3階ということなんですけれども、人員ですとか体制ですとか、そういったものはどういうふうになっているのでしょうか。

以上です。

○ 市長 それでは、細かい点も含めてありますので、担当のほうからご説明させていただきます。

○ 事務局 安心安全課です。まず、市長のほうから3か年計画でということでお話しさせていただきましたが、平成24年度に基本計画の策定業務を行いました、それが10月に終わりました。それで、直ちに実施設計のほうに入らせていただいて、それが去年の10月に終わったのを踏まえまして、12月の補正予算対応で工事に着手させていただきました。できるだけ早く危機管理センターの開設をし、本市の危機事案に対応するためということで、準備が整い次第ということで、この12月24日、年内に開設するという運びになったところでございます。

人員体制ですが、まずお話の中で私どもの危機管理部執務室の職員につきましては合計40名、危機管理監以下で常時業務をしております。また、災害対策室で本部員会議を実施する場合は市長をはじめ市の幹部職員30名にて会議を行わせていただきます。それ以前に本部が設置されますと、オペレーションルームへ参集するメンバーをお願いするわけですが、地域防災計画上の各部署から必要な人数を参集していただきまして、最大で130名程度が情報収集や共有、関係機関との連絡調整を行うような体制となっております。

以上です。

○ 埼玉新聞 今の説明につきまして質問がある方はお願いいたします。

○ 読売新聞 読売新聞と申します。今の質問に関連してなんです、最大130人が情報収集ということは、事前におっしゃった危機管理監以下40人とか、それから市の幹部の方30人というのを含まない数字ということですか。

○ 事務局 あくまでもオペレーションルームに参集していただく職員ということで、本部員会議の職員とは別になります。あと、危機管理部の職員は含めると

いうことをお願いします。

- 朝日新聞 朝日新聞です。関連してなんですけれども、さっき市長のご説明で250インチのスクリーンとか55インチのモニターとか結構いっぱいあるんですけど、そこに映すものはどんなものを想定されているんですか。例えば市の消防のほうにカメラがあって、リアルタイムで映すようなシステムができ上がっているのかとか、そういう点はどうですか。
 - 事務局 安心安全課です。今の9分割の映像につきましては、消防局のほうで所有している高所カメラ映像がありますので、そこから必要な映像を提供していただくこと、また埼玉県防災航空隊のヘリコプターのテレビ映像、これについても消防を経由し提供していただくような形になっております。さらに、各部署で被害状況を入力した内容や被害場所の地図情報などを表示した画面、あと各テレビ局のテレビ映像、そういったもろもろの映像を映すことができます。
 - 埼玉新聞 埼玉新聞です。埼玉県のほうにも危機管理センターがあると思うのですが、そこの役割分担ですとかはどうなっていますでしょうか。
 - 事務局 防災課です。県との役割分担ですけれども、県が行う災害対策と市が行うべき災害対策というのがございまして、それぞれ市において収集した情報を埼玉県へ送る形をとりまして、県では県の被害情報を取りまとめて収集されている。その中で防災活動を連携して行っていく形をとっております。
- 以上です。

幹事社質問：「今年の総括と来年の抱負について」

- 埼玉新聞 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
では、議題以外なんですけど、幹事社質問をさせていただきます。質問は1問なんですけど、まとめて行いますので、よろしくをお願いします。今年最後の定例会見ということで、今年1年間を振り返って、どんな1年であったかという総括と、これは来年また念頭に抱負をおっしゃるかもしれませんが、来年をどういう年にしたいかという来年に向けての展望を市長のほうからお聞かせいただきたいと思います。お願いします。
- 市長 それでは、幹事社質問にお答えをしたいと思います。

まず、平成26年の総括からしたいと思いますが、今年の年頭の記者会見で平成26年の漢字として躍動、躍進の「躍」という字を挙げさせていただきました。クリテリウムをはじめさまざまなスポーツ大会を成功裏に開催でき、スポーツのまちさいたま市を国内外に発信することによって都市イメージの向上等、本市が躍進できたものと考えております。

また、本市出身の若田光一さんが3月に日本人初のISSの船長に就任したことで8月20日には市長特別賞を授与させていただきました。またあわせて、帰国時に祝賀パレードを開催し、5,000人の方々においていただきました。これもさいたま市にとって大変喜ばしい出来事であったと思います。

また、平成25年には私の2期目に取り組むべき施策としてしあわせ倍増プラン2013と行財政改革推進プラン2013という計画を策定しましたが、平成25年度の実績でしあわせ倍増プランについては約87%、行財政改革推進プラン2013では約96%を達成させていただくことができました。特に倍増プランでは、子育てパパ応援プロジェクトであるとかアクティブチケット事業の拡充、特別支援学級の設置など、目標を上回って達成することができました。また、行革プランでも、市税等の収納率の向上、また一職員一改善提案制度の推進など、これらも目標を上回って達成することができました。

また、4月に策定しましたさいたま市成長戦略については、具体的に事業が進んでいったと考えております。特に長年懸案でありました大宮駅東口のまちづくりにとっても大変重要な事業であります大宮区役所の建て替えに係る県との財産交換契約の締結を8月1日に行うことができました。

また、環境の分野では、東部環境センターでのパッケージ型スマート水素ステーションの設置は世界で初の事業でございますけれども、これもすることができました。

また、JRで整備をしていただいております鉄道博物館についても約1.5倍の広さにリニューアルする、また新都心におけるホテル等を含めた複合ビルの建設計画も公表されまして、今後進めていくということが発表され、私たちにとっても大変うれしいニュースとなりました。

また一方で、官製談合防止法の違反容疑等によりまして、本市の職員が

逮捕、起訴されまして、市政に対する信頼を大きく損なうこととなりました。この問題については、しっかりと再発防止策、また職員の綱紀粛正を徹底して、市民の皆様の信頼回復に取り組んでいきたいと考えております。

また、来年度の抱負でありますけれども、現在総合振興計画あるいはしあわせ倍増プラン等で一つの参考資料として掲げさせていただいております、住みやすいという市民満足度90%を目指して、しあわせ倍増プラン、あるいは行財政改革推進プラン、あるいは成長戦略を着実に、またしっかりと進めていきたいと考えております。

特に来年は、3月に北陸新幹線が開通し、北陸、金沢まで2時間強で行けるようになる。また、東北線、高崎線が東北縦貫線として延伸されて東京駅までシームレスに移動することができるようになるという、交通の要衝でありますさいたま市がさらに大きく飛躍する、そんな時期を迎えることとなりますので、これをきっかけにさらにさいたま市の成長に向けた起爆剤としていきたいと思っております。

また、来年は浦和美園駅の東口駅前の複合公共施設がオープンしたり、また新都心周辺の北袋1丁目の区画整理の工事の着工が行われたり、新たないろいろな事業も成長戦略等に基づいて実施をされていきます。私たちにとっては、選ばれる都市、またしあわせ実感都市、さいたま市をつくるために、また市民の皆さんから住みやすいと言っただけ、90%以上の市民の皆さんにそう答えていただけるような市を目指して、来年は大変重要な時期になると思いますので、しっかりと歩みを進めていきたいと思っております。

私からは以上です。

幹事社質問に対する質問

- 埼玉新聞 ありがとうございます。
幹事社質問について、関連してちょっと質問します。今年の総括ということで、主立ったものをいろいろ挙げていただきましたが、市長ご本人としては何が一番印象に残っている出来事でしょうか。
- 市 長 出来事としてですか。1つですか。
- 埼玉新聞 1つ挙げるとすれば。

- 市長 唯一、1つということであるとすれば、本市出身の若田光一さんが日本人初のISSの船長としてミッションをしっかりと果たして本市に帰還されたということは、市民全体を大きく勇気づける、また子供たちを勇気づける大変大きな出来事だったと思っております。
- 埼玉新聞 それから、年頭に躍進の「躍」という字を掲げましたが、この目標といえますか、その達成度はどうご自身では評価されていますか。
- 市長 今年は、良いこともございましたし、またいろいろな事件などもございましたので、全体としては躍進することができたと思っておりますが、75%ぐらいでしょうか。
- 埼玉新聞 ありがとうございます。
- 幹事社質問について、何か質問のある社はお願いします。
- では、幹事社質問以外に質問のある社はよろしくお願いします。

その他質問：「さいたまクリテリウムについて」

- テレビ埼玉 テレビ埼玉です。クリテリウムの収支がそろそろ出てくるころかと思うんですが、具体的な数字など出ていたら教えてください。
- 市長 先般議会の答弁でもお答えしましたけれども、全体としては、500万円くらいの黒字になるということでご報告させていただいておりますけれども、詳細については、まだ若干報告書の作成とか、そういったものがあって、予算を含めて計算をしているのですが、それがまだ確定的なものではないので、正確な数字としてはご報告がまだできないという状況です。
- テレビ埼玉 あと、経済効果と人がどれくらい来たかという数字もまだだと思っておりますけれども、それについてもしわかる範囲であれば教えてください。
- 市長 これも前回お話ししましたが、委託をしている最中ですので、もう間もなく出てくると思います。そして、その人数が出た段階で経済波及効果については委託をするという形になると思いますので、もう少しお時間をいただければと思います。

その他質問：

「浦和レッズ、大宮アルディージャについて」

○ 埼玉新聞 ほかにありますでしょうか。

済みません。埼玉新聞から質問させていただきます。市長冒頭で少しおっしゃいましたが、ことしの浦和レッズが優勝をあと一步のところまで逃してしまった、それから大宮アルディージャが降格してしまったということで、痛恨の極みということですが、市長ご自身もうちよっと感想をお願いいたします。

○ 市 長 このJリーグの最終戦は、多分市民の皆さんの大変強い願いと祈りと思いで過ごされた方も多と思いますけども、浦和レッズは優勝がかかった試合であり、また大宮アルディージャがJ1に残留できるかどうかがかかった試合でありましたけれども、浦和レッズについては本当に優勝まであと一步というところでありましたけれども、残念ながら最後にガンバに逆転をされてしまうという結果になりました。また、大宮アルディージャも最終戦まで本当に全力を尽くして頑張ってくれたと思いますけれども、残念ながら相手方の清水エスパルスが引き分けだったということで、残留することができなかったわけですが、まずレッズについて言えば、最終戦まで選手の皆さんは本当に一生懸命頑張ってくれたと私は思っております。また、レッズの活躍によってさいたま市内も活気とにぎわいがもたらされたと思っていますし、多くの市民の皆さんの夢であるとか、そういったものにもつながってきたと思っております。そういう意味では、選手の皆さんの頑張りには心から感謝を申し上げたいと思いますし、ただやはり優勝するにはもう一步というところがあるかと思えます。この悔しさをばねにして、来年はぜひJリーグ優勝という栄冠を勝ち取ってほしいと思います。

また、先ほど質問には入っていませんでしたが、レッズレディースのほうは5年ぶりになでしこリーグで見事優勝するということになりまして、本市としてはこの栄誉をたたえて市長特別賞をレッズレディースの皆さんには近日中に授与したいと思っております。また、今週末から皇后杯(の試合)も始まりますので、ぜひ2冠を達成してほしいと思います。

それから、大宮アルディージャについてでありますけれども、10年間、一生懸命J1のチームとして戦ってきました。最後はいつも何とか踏ん張ってJ1で頑張っていたということがありましたけれども、今回は

本当に痛恨の極みではありますが、J 2に降格をするということになりました。J 2に降格しても、是非来年また1年で返り咲いていて、そういう意味ではJ 2、J 1の差が随分詰まってきたらと思っています。今年優勝したガンバは1年目で返り咲いていきなり優勝、その数年前も柏がそういうようなことがありましたので、そういう意味では1年で是非J 1に復帰をしていただいて、また浦和レッズと埼玉ダービーを戦っていただきたいと思っています。

いずれにしても、さいたま市はこの2チームのホームタウンでありますので、これからもしっかりと応援をしていきたいと思っておりますし、2チームにはこれからも市民の皆さんの夢として大いに活躍をしてほしいと。また、今年の悔しさをばねに是非来年にそれを生かして納得のいく成果を残してほしいと思います。

○ 埼玉新聞 それでですね、最終的には両チームとも、どうチーム、クラブがどれだけいろんな戦力補強とか、チームの運営とか頑張るかということだと思うんですけど、ただ、サポートする市民とか市とかの力も非常に大きいと思います。そういう意味で、さいたまはサッカーのまちということであって、そういう意味で、さいたまはサッカーのまちということであって、例えば市として今後こういうふう支援を強化していきたいとか、何かお考えがあったらですね、教えていただきたいんですけど。

○ 市 長 具体的には、まだどういう事業をやるというところまではいっておりませんけれども、ただ、アルディージャが降格するまでは、J 1のチームが2チームある全国で唯一の都市がさいたま市でしたから、引き続き、Jリーグのチームを2チーム持っている都市として、またサッカーのまちとして、この両チームをいろいろな形で支えていく、あるいは一緒に戦っていくという感覚、そんな思いを共有できるような事業を、できれば充実させてやっていきたいと思っております。

いずれにしても、結果がどうあれ、私たちにとってはこの2チームのホームタウンということですから、市民の皆さん、ファン、サポーターと一緒にさいたま市も引き続きしっかりとサポートをし、応援をし、盛り上げていきたいと思っています。

○ 埼玉新聞 ほかはありますでしょうか。

その他質問：「衆議院選について」

○ 埼玉新聞

埼玉新聞社と申します。

今行われている衆議院選の選挙についてなんですけれども、投票率が低いとかいろんなこと言われていますが、市長、この選挙について希望すること、こういうふうな選挙にしてほしいという望むことですか、あと特定の候補者の方で応援する方とかいらっしゃいましたら、いろいろ教えていただきたいんですが。

○ 市長

まず、特定の候補についての応援については、前回もお話ししましたが、どなたも応援をしておりません。

それから、今回の選挙ですけれども、安倍政権の経済政策でありますアベノミクスが最大の争点ということになっておりますけれども、ただもう一方で、この景気自体が、回復している部分もたくさんあると思っておりますけれども、もう一方で回復まで至っていない地方の中小企業であるとか、あるいは円安のマイナスの影響を受けている、そういった企業等もあるかと思っておりますので、私とすれば今後そういったものをしっかりとカバーしていただけるような政策、あるいは取り組みといったものを各党どのように考えているのか、あるいはその景気、経済に対してどのような政策が掲げられているのか、あるいは地方がどういうふうに進歩をしていくか、あるいは地方が元気になるような施策をどのように挙げているのかという視点で、この選挙は是非、私自身は見たいと思っておりますし、見ていただきたいと思っております。

それから、全体として、年末の選挙ということもあってやや関心が薄いというところもあります。今の期日前投票の状況などを見ても非常に低い状況でございますので、是非多くの国民の皆さん、市民の皆さんには投票所に行って、自分たちの意見、あるいは自分たちの意思をあらわしていただきたいと思っております。

以上です。

○ 埼玉新聞

済みません、引き続き埼玉新聞です。

関連してなんですけれども、特定の候補を応援されているというのはないということだったんですけれども、例えばこういう候補というイメージ

ですとか、あとため書きですね、頑張ってくださいとか必勝のため書きなんですけど、送られた候補がもしいらっしゃったら、どういう政策を応援したくて送ったかとか、そのあたりについてお願いできますか。

○ 市 長 基本的には、さいたま市として、これまでやはり現職の方々に大変お世話になってきました。市のために国会議員の皆さんにやっていただきましたので、そういう方々には全員、ため書きを送らせていただいております。党派に関係なく。自民党の候補者もいますし、民主党の候補者もおります。

○ 埼玉新聞 済みません、選挙に関連して引き続きなんですけど、先ほど市長自身はアベノミクスの効果が争点で、その景気とか地方の活性化とか、そういう部分をやっぱり各候補者の主張を見たいというようなことでしたが、その辺の各党、各候補者の主張は、十分市民、国民に対して説明されているとお思いでしょうか、もし説明されていないようでしたら、どういうふうにもうちょっと説明してほしいとか、ご希望ありましたらお願いします。

○ 市 長 各候補の現状の選挙戦での活動を私自身認識しているわけではありませんので、それがきちんと説明されているのか、理解をしてもらっているかということについて、コメントすることはできませんけれども、ただ、やはりまだまだ、どなたがどうということではなくて、やはり選挙戦で訴えたいことなどが、必ずしもまだ十分に有権者の皆さんに届いていないということが多々あると思っておりますので、やはりそういったことをしっかりと、自分たちが当選をした場合に実施しようということをしてできるだけしっかりとわかりやすく、有権者の皆さんに説明をしていただきたい、訴えをしていただきたいと思っております。

○ 埼玉新聞 あと投票率の件なんですけど、この間のまちの盛り上がりとか選挙戦の様子をごらんになって、選挙に対する熱というのですか、そういうのは市長どのように感じていらっしゃいますでしょうか。

○ 市 長 そうですね、やはり前回、2年前も低いという状況はございましたけれども、それ以前の選挙と比べると、やや盛り上がりの部分で言うと欠けているところはあるのではないかと思います。

○ 埼玉新聞 それからですね、期日前投票なんですけど、全体にちょっと低いということですが、特にさいたま市は前回に比べての低下具合がちょっと大きい

と思うんですが、この点については何か、どうしてそうなったのかなというのを何か分析等されていますでしょうか。

- 市長 要因は幾つかはあると思いますけれども、1つは物理的なところで、投票所の整理券の発送が遅れたということについては、何らかの影響は出ていると思います。ただ、これはとにかく準備期間が極めて限られた中でやっていることでもありますので、非常に難しいところがあったと思いますけれども、やはり迅速な対応に向けてやれるように、今後していただきたいと思っています。

あと、この年末という季節もあるんでしょうし、あるいは必ずしもそれぞれの争点、あるいは訴えたい点が、まだまだやはり有権者の皆さんの心に響くというところが少ないのかと、あるいはダイナミックな変化というものへの期待みたいなものが余らないという状況があるという感じはしています。どちらかという、まち全体がやはり静かな感じがしています。

- 埼玉新聞 投票率が前回もたしか戦後2番目ぐらいですか、低いということで五十七、八%ぐらいだったと思うんですが、今回はさらに下がってしまって50%台半ばぐらいになるかもしれないと言われています。こういう状況というのは、私はちょっと危険というか、危機感を感じるような状況だと思うんですが、市長ご自身はどのようにお感じでしょうか。

- 市長 そうですね、前回から急激に投票率が下がっているという状況については、非常に危惧していますし、より多くの国民がしっかりと自分の意思を表明して、そして政治家を選んでいく、国会議員を選んでいくということをやっていくことが必要だと思いますし、今、地方の投票率も下がってしまっているのですけれども、政治そのものへの関心の低さという傾向が結構出てきている。これはその傾向なのかと思っておりますので、この国政選挙、もちろん地方選挙も含めてですけれども、投票率を高めていく、これにしっかりと私たちも取り組まなくてはいけないし、政治にかかわる人間の一人として、政治への意識を高めていただくということは、普段の中でもやはり努力をしていく必要があると改めて思っております。

いずれにしても、このまま投票率がどんどん下がっていくという傾向については何とか歯止めをかけていかなければいけないと思っております。

- 埼玉新聞 ほかに何かありますでしょうか。

その他質問:「特別職報酬等審議会からの答申を受けての対応について」

- 朝日新聞 朝日新聞です。
先日ですね、特別職報酬等審議会のほうから答申が市長のほうに出されたと思うんですが、その答申の内容をですね、反映した条例改正案とか、今議会に出すご意思とかあるんでしょうか。
- 市長 職員のほうとセットで出していかなくはないと思っておりますので、今議会では少し難しいと思っております。
- 朝日新聞 その理由は。
- 市長 職員のほうとのご理解というのをしっかりやった上で出していくということが必要だと思っておりますので。
- 埼玉新聞 ほかにありますでしょうか。どうでしょうか、よろしいでしょうか。
どうもありがとうございました。以上をもちまして、本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 進行 以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。
次回の開催は、年明けまして平成27年1月6日火曜日、午前11時から開催いたしますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

午後2時18分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。